



題字 井口 文章
再刊 第412号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：61回生が入学！ようこそ錦城へ
マスク、つける？はずす？
二面：離任された先生方から最後のメッセージ
今号から、クイズ企画が開始！

春一番に乗って錦城へ

第61回入学式が挙行される

4月7日(金)、第61回入学式が挙行された。今年度から各家庭につき保護者1人までという参加人数の制限がなくなり、第1体育館は久しぶりに賑わいを取り戻した。
天も新入生を祝福
春一番が吹き荒れる入学式当日。校門には真新しい制服に身を包んだ新入生の姿があ...

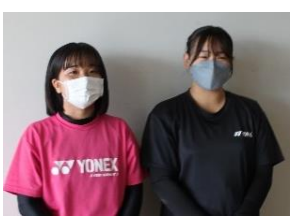


風立つ中、名簿を確認する新入生

ベストを尽くして挑んだ大会

史上初！全国大会出場

3月24日(金)に東京体育館で行われた全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会に宮部沙音さん(元2E)、田口莉子さん(元2△)が出場。昨年11月に行われた第50回東京私立高等学校新人選手権大会においてベスト16の成績を収めて決めた今大会への出場。結果は1次リーグ敗退だったが、ソフトテニス部女子の全国大会出場は錦城史上初の快挙だった。



全国大会を振り返る

二人は全国大会出場が決まった時の思いについて口を揃えて「信じられなかったです」と話す。そして全国大会を終えた今の気持ちを田口さんは「全国の人と対戦でき、良い経験になりました」と語る。また、宮部さんも「全国とのレベルの違いを感じました」と振り返った。今大会は体育館内で行われるインドア形式の大会で、普段行方外のプレーとのギャップは印象的だったという。しかし、普段から意識している攻めの姿勢は今大会でも意識して、全力を尽くせたようだ。

様々なことを経験してください

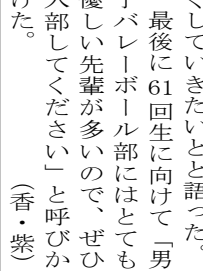
今日から高校生になるがここがゴールではない、と新入生に向けて呼びかけた阿部一朗校長先生。
これから始まる学校生活で取り組んでほしい3つのこと



様々なことを経験してください

スプリングカップにて優勝

関東大会出場に意欲



3月21日(火)に小金井北高校にて東京や神奈川にある高校のバレーボール部を約16グループに分けたスプリングカップが行われ、西部地区において男子バレーボール部が優勝した。

夢は「憧れ」

学年主任の郷野輔輔先生は

最初に「僕は雨男なので、今日は雨が降らなくて良かったです」と言い、緊張している様子の新入生を和ませた。そして、61回生に向けて、環境に慣れることで、自分の最大の実力を発揮することができると話す。その上で、環境に慣れることとは一番エ

縁を大切にしてください

新入生代表の岩崎優那さん

また、コロナ禍で友人との関わりや学校行事などにおいて様々な制限があった中学校での日々を振り返り、その生活の中で得た「問題と向き合う力」と「問題を解決する力」

堂々と言葉を述べる

入学式を終えた61回生に

村塚実さん(1G)は入学式で一番印象に残ったのは先生方の言葉だ。そして、錦城生活で頑張りたいことを聞くと「一部活動と勉強の両立を目指したいです」と話してくれた。

新しい教室で初めてのホームルーム

3月22日(水)、アメリカのロンドンデロブパークにおいてWBC決勝ラウンドが行われ、互いに史上最強のメンバーを誇るアメリカと日本が歴史に残る激闘を繰り広げた。接戦を制した日本は14年ぶりの世界一に輝いた。今大会のハイライトは決勝の9回2アウトの場面。メジャーリーグのロサンゼルス・エンゼルスでチームメイトである大谷翔平選手(投手)とマイク・トラウト選手(打者)の対戦だ。日米を代表するスターが火花を散らす対決は三振を奪った大谷翔平選手に軍配が上がった。野球の本場であるメジャーリーグにおいて投手が圧倒的な成績を残し、日本人のみならず多くの超一流メジャーリーガーが「大谷は地球上最高の選手」と口を揃えて絶賛する。さらに、飾らない人柄も人々から愛される所以だ。大谷選手の成功には、並々ならぬ努力があった。大谷選手は高校生とき、マンドラチャートと呼ばれる目標達成シートを作成していた。これは、最も達成したい目標を真ん中に書き、周囲9×9のマスを細分化した目標を書き込むというもの。大谷選手はこれに地道に取り組みしていたという。▼そもそも大谷選手が野球を選んだきっかけが気になり、ネット記事を調べてみた。実は大谷選手は、野球と出会う前にはバドミントンと水泳に打ち込んでいたそう。しかし、兄が野球をやっていたことに加え、実際にやってみて「自信がある」と感じたことがきっかけで、野球を選んだのだ。▼大谷選手が野球以外の道に進んでも、一流の選手になれたかもしれない。しかし、大谷選手は野球を選び、そこでたゆまぬ努力を続けた。その努力の結果は、誰もが知る通りだ。▼これから錦城生活が始まる新入生は、全力で打ち込める何かを見つけていく日々になるだろう。その選択は広い視野を持って探してみたい。そのために、まずは色々なことに挑戦しよう。

コロナ禍での経験を力に

新入生代表の岩崎優那さん

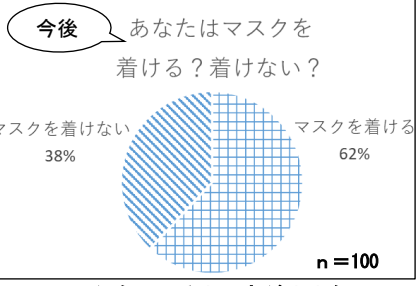
最後に「3年後に錦城で良かったと思えるように果敢と立って生きてほしい」と願っています。と、新入生への期待を語った。

ストリームで便利に

生徒会が Google Classroom のストリームを新設しました。ここでは、企画(意見箱等で寄せられたものを含む)を実施するためのアンケートや新情報、生徒会報には掲載しない細かい事柄が発信される予定です。新しい通知をすぐに確認できるように、アプリのインストールをし、通知をオンに設定しておきましょう。また、生徒会のエンブレムも完成しました。Google Classroom のアイコンにもなっており、発信者が視覚的に分かりやすく、かつ親しみを感じるデザインとなっています。生徒会への意見は、各学年のストリームに投稿されている「意見箱」からアンケート形式で送信が可能です。生徒会のメールアドレスに直接送ることもできます。(金) 生徒会のエンブレム
☆錦城高校生徒会メールアドレス
k.s.c.official@kinjo-highschool.ed.jp

どうする？マスク

錦城生 100人にアンケートを実施 6割が「つける」
4月から、全国でマスク着用の実質的義務が緩和される。これを踏まえ、3月末に新聞委員会編集部では旧1・2年生の生徒100人を対象にアンケートを実施した。結果は左記のようになり、これからもマスクを着用するという生徒の方が6割を占めた。



アンケートの結果を見て、田村瑞徳さん(元1E)は「まだコロナに対する警戒が残っていて、感染対策をしている人が多いのかなと思いました」と印象を語った。柳沼美帆さん(元2E)は「受験生なので、周囲がマスクを外していても私はマスクをつけ続けるつもりです」と自身の立場を話してくれた。結果を踏まえて、阿部一朗校長先生に錦城高校としてのマスク着用の方針について話を伺った。結果的印象について「街中でのアンケートでは外す人は3割くらいだったので錦城生は外す人が多いと感じました。マスクをする人とならない人が混ざっても良いと思います」と語った。マスクの着脱について錦城の方針を聞くと「学校として着脱のどちらかを促すことはしません。『学校だからこうしなくてはいけない』という考えよりも社会に生きる人として社会情勢を踏まえた個人の判断を尊重していきます」と話す。また、学校での感染対策については新型コロナウイルスが2類から5類になったのは人の判断であり、ウイルスがいなくなったり減ったりしたわけではないと語る。そのため、密の回避や換気などの感染対策はこれからも続けていくそう。受験生のマスクの着脱については「強制ではないので個人の自由で良いですが、感染リスクに不安を感じるのなら付けていた方が良いと思います」と話した。校長先生自身は現在一人の時はマスクを外しているようで、花粉のピークが収まり次第、積極的に外していこうと考えているようだ。(白)

むらさき草

3月22日(水)、アメリカのロンドンデロブパークにおいてWBC決勝ラウンドが行われ、互いに史上最強のメンバーを誇るアメリカと日本が歴史に残る激闘を繰り広げた。接戦を制した日本は14年ぶりの世界一に輝いた。今大会のハイライトは決勝の9回2アウトの場面。メジャーリーグのロサンゼルス・エンゼルスでチームメイトである大谷翔平選手(投手)とマイク・トラウト選手(打者)の対戦だ。日米を代表するスターが火花を散らす対決は三振を奪った大谷翔平選手に軍配が上がった。野球の本場であるメジャーリーグにおいて投手が圧倒的な成績を残し、日本人のみならず多くの超一流メジャーリーガーが「大谷は地球上最高の選手」と口を揃えて絶賛する。さらに、飾らない人柄も人々から愛される所以だ。大谷選手の成功には、並々ならぬ努力があった。大谷選手は高校生とき、マンドラチャートと呼ばれる目標達成シートを作成していた。これは、最も達成したい目標を真ん中に書き、周囲9×9のマスを細分化した目標を書き込むというもの。大谷選手はこれに地道に取り組みしていたという。▼そもそも大谷選手が野球を選んだきっかけが気になり、ネット記事を調べてみた。実は大谷選手は、野球と出会う前にはバドミントンと水泳に打ち込んでいたそう。しかし、兄が野球をやっていたことに加え、実際にやってみて「自信がある」と感じたことがきっかけで、野球を選んだのだ。▼大谷選手が野球以外の道に進んでも、一流の選手になれたかもしれない。しかし、大谷選手は野球を選び、そこでたゆまぬ努力を続けた。その努力の結果は、誰もが知る通りだ。▼これから錦城生活が始まる新入生は、全力で打ち込める何かを見つけていく日々になるだろう。その選択は広い視野を持って探してみたい。そのために、まずは色々なことに挑戦しよう。



新しい教室で初めてのホームルーム

応援の言葉を胸に



副教頭 福田 秀峰先生

勉強や部活、委員会など何事においても全力で取り組んでください。手を抜いて得た成功、招いた失敗は自分のプラスにはなりません。全力で取り組んだことによって、たとえ結果がどうなったとしても自分の自信につながっていきます。

3月24日(金)の離任式で、昨年度をもって錦城高校を退任した13人の先生方が挨拶を述べた。今号では私たちの学びを日々サポートしてくれた先生方から錦城生へ向けたメッセージを紹介する。(編集部共同取材)

数学 鈴木 利絵先生

みんなありがとう。これからも学校生活を頑張っていくてください。



数学 平山 紀明先生

日常の様々な場面で、色んな選択をしたいと思います。悔いが残らないように。「ああとけば良かったな」と思うこともそうですが、最初からそう思わないように生活してほしいと思います。あと、行事も楽しんでくださいね!



国語 浅井 直樹先生

『生きているだけで百点満点』という老子の言葉を贈ります。日常の中で、私たちは生きることを当たり前だと思いがちですが、実はそうではありません。生きることは一番大切だということを念頭に置いてほしいです。



国語 奥井 咲葵先生

コロナ禍で制限のある3年間でしたが、みんなのおかげで授業が楽しく、錦城で教えることができて良かったです。4月からの道は自分で決めたことなので、みんなにも自分の道を自分の意志で決めてほしいと思います。



社会 田部井 涼生先生

勉強面でも遊びの面でも、後悔のないようにしてほしいです。先生や友達に囲まれている今、あらゆることを大切にしてください。



理科 入野 翔太先生

皆さんのおかげで教員としてのいいスタートを切ることが出来たと思います。本当に1年間ありがとうございました。

英語 小林 健太先生

『もう1日だけ頑張ってみよう』という言葉を送ります。高校生活を3年間とひとくくりにするのではなく、1日1日が積み重なった3年間であるということ意識してほしいです。私も1日1日の積み重ねで今日を生きています。



保健体育 廣松 優一先生

皆さんはこの先、人生の中でいろいろな経験をしたいと思います。その中で、考えるということをやめないでください。また、遠回りすることもあるかもしれませんが、それは悪いことではありません。



保健体育 高橋 理沙先生

高校生活が悔いのないものとなるように、何事にも全力で挑戦してほしいと思います。体調管理に気を付けて元気に頑張ってください。



今号でお話を伺った先生方の他に、右記の先生方が退任されました。都合により、最後にお話を聞くことは叶いませんでしたが、お世話になった生徒も多いと思います。先生方の今後のご活躍を願っております。

国語科 橋本 超先生

英語科 本田 透先生

数学科 吉本 幸弘先生

錦城高校クイズ研究会 × 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2023

【第1回】

あいうえお
かきくけこ
しすせそ
ちつてと

問題
右の文字列は何を表しているでしょう?

最後のスキー合宿

3月26日(日)から3月29日(水)、ワンダーフォーゲル部は長野県の梅池高原へ行ってきました。59回生にとっては最後のスキー合宿です。今回は3日間とも晴天に恵まれ、アイスパーンのゲレンデを滑走しました。59回生をはじめ、スキー技術が上達した部員が増えました。今冬は雪がほとんどなく、地面の岩肌が露出している所も多々見られましたが、全員が無事に帰ってくる事ができました。(ワンダーフォーゲル部副部長:金)



思い出の1ページを刻む

宿泊研修の取材、写真撮影をしてくれる1年生を募集中!!

宿泊研修中の写真撮影、研修後の記事作成、記事編集の手伝いに興味はありませんか?文章を書くのが苦手な人も、カメラを使ったことがない人も大歓迎!4月13日(水)に、ぜひ新校舎7階の生徒会室(新聞委員会編集室)までお越しください。

北斎の影響力を発信する

2017年12月20日249号は国立西洋美術館で開かれた『北斎とジャポニズム』の閉会式から多くの日本美術ファンが海外へ広まった。この紙面にはなぜ北斎の絵が海外の有名な画家へ大きな衝撃を与えたのかという疑問に対する答えや、浮世絵とそれを知る事ができる。また、美術館の展示会は同じく世界各地から集まった作品を自分なりに解釈した画家の作品の写真が載っている。その近くには浮世絵が影響を与えたポイントや北斎の発想が活かされた部分だけを説き及ぼすので、記事だけでは分からない北斎の影響力を知ることができる。

北斎が西洋に与えた影響に迫る。この紙面にはなぜ北斎の絵が海外の有名な画家へ大きな衝撃を与えたのかという疑問に対する答えや、浮世絵とそれを知る事ができる。また、美術館の展示会は同じく世界各地から集まった作品を自分なりに解釈した画家の作品の写真が載っている。その近くには浮世絵が影響を与えたポイントや北斎の発想が活かされた部分だけを説き及ぼすので、記事だけでは分からない北斎の影響力を知ることができる。

北斎の魅力を存分に紹介している。私たちが日々紙面の内容をもっと身近なものと思っていきたい。だからこそ、この紙面のように上手く関連付けられていることに感銘を受けて、見習いたいと思った。(白)

は再び元の美術館へと返却されていくという点、鑑賞の仕方は自由だという点などを挙げて北斎だけでなく美術館の魅力も伝わってくる紙面となっている。

私がこの紙面を選んだ理由は、錦城生に身近な話題を、校外で行われていることと関連させて取り上げていること、校が親しみやすい紙面になっていると感じたからだ。

この紙面は2017年度の2年生が使用していたReadingの教科書[ROWN PLUS]で取り扱われた葛飾北斎と関連付けて国立西洋美術館の『北斎とジャポニズム』展を紹介している。

私たちが日々紙面の内容をもっと身近なものと思っていきたい。だからこそ、この紙面のように上手く関連付けられていることに感銘を受けて、見習いたいと思った。(白)

編集委員の声

過去記事セレクション